

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第13回柿崎区地域協議会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### (1) 報告事項(公開)

- ・令和4年度柿崎区における主な事業について
- ・「上越市地域活動支援事業 令和4年度実施分 募集要項」柿崎区版について
- ・柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告

### (2) その他(公開)

## 3 開催日時

令和4年3月15日(火) 午後6時から午後7時33分まで

## 4 開催場所

柿崎地区公民館 3階 集会室

## 5 傍聴人の数

3人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井一寛(会長)、白井一夫(副会長)、岩野秀樹、薄波清美、貝谷雅子、片桐充、小出祥世、小山慶、武田正教、中村誠、箕輪明男、蓑輪和彦、吉村正
- ・新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課：茂野課長、小林参事、眞保副参事、佐藤主任
- ・生活環境課：田村課長、柄澤参事、小池主任
- ・事務局：柿崎区総合事務所 市川所長、柿村次長、小林次長、滝澤産業グループ長、武田建設グループ長、池田市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長、熊木地域振興班長、大場主査

## 8 発言の内容（要旨）

### 【柿村次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・片桐宏樹委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

### 【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に蓑輪和彦委員を指名。
- ・5 その他(1)の上越地区における産業廃棄物広域最終処分場候補地の絞り込みについての説明を県廃棄物対策課へ依頼。

### 【県廃棄物対策課】

- ・「県議会厚生環境委員会資料」により説明。

### 【吉井会長】

何か質問等はあるか。

### 【小出委員】

どこかで最終処分場の整備を引き受けなければならない、現実だということは理解している。一方で候補地は、生態学的に言うと、非常に豊かな動植物が育まれている貴重な自然環境がある場所である。これから我々が取り組まないといけないのは、アセスメントである。私も候補地と思われる場所を見てきた。見事なヤブツバキが群生していた。どんな環境アセスメントが行われるのか、今答えられる範囲でお聞きしたい。

そして、上越分室を設置するということだが、私は環境アセスメントの結果を聞きに行きたい。色々な立場の方々もいるので、聞きたいことがある方がいると思う。市民に近い中で、情報を公開・発信していく分室になってほしいと思っているが、情報の公開・発信について、どのように取り組んでいくのか。

今回、5か所から2か所への絞り込みは、相対的に優位と認められた候補地と説明があったが、細かい調査票を作ったのか、誰がどのように評価をしたの

かお聞きしたい。

誰かが受け入れなければならない事は理解しているが、守るべきものは守らなければならないという環境もある。調査をして、すごく貴重なものがあつたら引き返すということも考慮してもらいたい。

**【吉井会長】**

三つの質問になる。①5か所を2か所にどのような形で絞り込んだのか。②環境影響評価の調査内容をどれだけ公表してくれるのか。③上越分室の役割も含めて説明いただきたい。

**【小林参事】**

③上越分室は、市民に近い行政ということで処分場にご理解いただきたいという立場である。市民からのお尋ねに対しては、真摯に対応するのが基本姿勢だと思っている。②環境調査の内容は、基本的に公表できるものは公表したいと考えている。これから本格的な環境アセスメントを行う。地域の方々のご協力をいただきながら、懸念の声を受け止めて適切な対応をしていく。

**【眞保副参事】**

②処分場の整備にあたっては、県条例による環境アセスメントが必須である。どのように行うかの方法書を作成し、専門家で構成される県の審議会に諮ることになる。方法書は全て公表することになっている。方法書がまとまれば、それに基づいて調査を行い、調査結果の成果として評価書が作成される。全て公開することになる。

**【小林参事】**

①5か所から2か所への絞り込みについては、数値的な評価はしていない。評価項目を設けて5か所を相対的に優位なところ、優位でないところという評価方式で選んだ。候補地検討委員会の評価を踏まえ、職員が現地確認を地元町内会の協力を得ながら行い、できる限り入れる場所まで行って現地を確認し、その上で相対的に比較評価をした。施設の安全性、交通の影響、生活環境への臭い等の影響を図面等で可能な限り調べて客観的な比較を行った。

**【吉井会長】**

絞り込みは、数値的なものでなく相対的な評価ということで2か所を選んだ。環境アセスメントについては、項目が細かくあるので、それに沿って実施

するという事。

**【小出委員】**

何かがあった時に公開してもらえればいい。アセスメントの方法書を審議するのは、候補地検討委員会とは違う組織なのか。

**【眞保副参事】**

アセスメント条例を専門に取り扱う部署に委員会があるので、そこが審査をする。

**【小出委員】**

具体的に決まったらお聞きできる機会を考えてほしい。上越分室については、できるだけ市民に近い分室になっていただきたいと思う。

**【蓑輪委員】**

2か所の候補地は距離が近い。今後、町内会の協力を得ながら詰めていくとのことだが離れた場所であれば決めやすいと思うが、ほぼ似たような場所である。具体的にどう決めていくのか。過去に上越で地域の同意が得られず整備ができなかった。地元地権者の同意が必要であるが、得られない場合どうするのか。

**【小林参事】**

これから具体的な調査をやっていく。今後、整備を検討していくなかで様々な可能性が出てくると思っている。今は具体にお答えできないというのが正直なところである。土地の所有者が反対であれば、強要はできない。今は、皆さんのご理解をいただく場面である。ご理解いただけるように頑張っていく気持ちでいる。

**【吉村委員】**

候補地が2か所選ばれたため、1か所目の埋立終了後に次の候補地になるという先入観がある。ごみは将来もずっと出続ける。この場所に次々と造られるのではないかと懸念を持っている。

**【小林参事】**

説明会でも懸念のご意見をいただいた。具体的な整備の検討を進めるなかで、地域の皆さんと相談しながら検討していきたいと考えている。

**【吉村委員】**

柿崎は人口がどんどん減っている。処分場を造るとするならば、県としても地域に優位性をもたせるような造り方をしてもらいたい。例えば観光の目玉になるとか、そういうものにならないと、もったもった人口が減ってしまう懸念がある。逆手にとって上手く利用できないかと考える。そのような事も視野に入れて進めてもらいたいと希望する。

【吉井会長】

上越分室は、市ではなく県の分室か。

【小林参事】

そのとおりである。

【吉井会長】

地域協議会は市長直属の組織であり、柿崎区の色々な問題を行政の方々と共有している。我々地域協議会と上越分室との関わりは重要だと思うが、どのような形で関わっていただけるのか。

【茂野課長】

課から上越分室に職員を配置する予定としている。地域の皆様と密接に関わりながら迅速に対応できるようにと考えている。疑問点やご意見等があれば、身近なところで聞かせていただくということもあると思っている。地域協議会との関わりについては、今後上越市と相談をさせていただきたい。

【市川所長】

茂野課長から一定の可能性と見解の話があり、私もそう思う。市政直属の機動的なものや直接施策的なものとは、県や環境保全事業団のものはワンクッションが入るが、地域課題として、最終処分場の整備は事実として柿崎に存在するものである。今後、①地域協議会が上越分室とどういう関わりを持つのか、場合によっては②環境保全事業団と直接やりとりをするなど、③そのような方向性を話し合いや意見交換の場を設けながら情報共有をするということ、④地域の意見として直接声を届けるという道筋を地域協議会が付けていかないといけない。県もハードルを高くせずにオープンな形で地域に密着した事業の推進をしていただきたい。私どもも地域協議会事務局として努めていくので、ご理解をお願いしたい。

【吉井会長】

一緒になって良い方向へ進めたら良いと思う。他に委員から質問がなければ、これで終了するがよろしいか。

(質問なし)

**【吉井会長】**

ありがとうございました。次に報告事項(1)令和4年度柿崎区における主な事業について説明願う。

**【柿村次長】**

- ・令和4年度柿崎区における主な事業の内容については、予算の成立を前提としたものであることを報告。
- ・資料1の1番から9番について説明。

**【滝澤グループ長】**

- ・資料1の10番から15番について説明。

**【武田グループ長】**

- ・資料1の16番から23番について説明。

**【池田グループ長】**

- ・資料1の24番から29番について説明。

**【小林グループ長】**

- ・資料1の30番から34番について説明。

**【吉井会長】**

報告事項について、何か質問はあるか。なければ私の方からお願いしたい。地域活動支援事業について、令和5年度にこれがなくなると、どのようにして各地域で予算を立てていけばいいのかを先日、中川市長に質問したところ、それこそ各地域で提案していただいて、予算書に盛り込んで、各地域で実施していただきたいとの回答があった。来年はこの中に710万円に相当する色々な事業が入ってこないといけないということである。令和5年度予算をどのようにするかは、まだ先の話だが、このことを重々考えていかなければならないと思う。柿崎区では他の見本となるようにやっていきたいと思っているので、特に総務・地域振興グループの方でよろしくお願いしたい。

**【柿村次長】**

先日、市長と会長が面会され、私もすぐそばにいたので、やりとりは承知し

ている。ハード事業はできないけれども、地域を元気にするためのソフト事業については、ぜひ要望してもらいたいという趣旨であったと思っている。地域協議会として必要な補助的なものであるとすれば、それは優先的に採択して行かれるものだというふうに私も理解したところであるので、皆様からご意見を寄せていただきたいと思っている。

**【吉井会長】**

ぜひお願いしたい。次に(2)「上越市地域活動支援事業 令和4年度実施分 募集要項」柿崎区版について事務局から説明をお願いします。

**【熊木班長】**

- ・資料2に基づき「上越市地域活動支援事業 令和4年度実施分 募集要項」柿崎区版について説明。

**【吉井会長】**

- ・今の報告事項について何か質問等はあるか。  
(なし)
- ・それでは(3)柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告ということで、蓑輪委員長から空き家活かそうプロジェクト会議について報告をお願いします。

**【蓑輪委員】**

- ・資料3により空き家活かそうプロジェクト会議の検討内容について説明。

**【吉井会長】**

- ・何か質問等はあるか。  
(なし)
- ・それでは次に5その他ということで、片桐充地域協議会だより編集委員長から挨拶がある。

**【片桐充委員】**

- ・前期の編集委員会が終わったことやこれまでの各委員の協力に感謝する旨の挨拶。

**【吉井会長】**

- ・お疲れさまでした。それでは次に5その他、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

**【熊木班長】**

- ・(2)第15回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について説明
- ・(3)第2回みんなの保育園を考える会会議の開催について
- ・(4)令和4年度第1回地域協議会の開催について

**【吉井会長】**

- ・みなさんから何かあるか。他になければこれで終了する。

**【白井副会長】**

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時33分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : [kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。